

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 昭和電線ホールディングス株式会社

コード番号 5805 URL <http://www.swcc.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 相原 雅憲

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 IR・広報グループ長 (氏名) 菅井 幹夫

TEL 03-5404-6951

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	85,863	8.3	671	-	91	-	△133	-
25年3月期第2四半期	79,252	△7.4	△829	-	△1,849	-	△1,886	-

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 989百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 △2,466百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△0.43	-
25年3月期第2四半期	△6.12	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	139,576	36,339	25.8
25年3月期	136,890	35,349	25.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 35,998百万円 25年3月期 35,057百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	176,000	3.7	3,000	166.4	2,000	-	1,500	-	4.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	308,268,611株	25年3月期	308,268,611株
26年3月期2Q	110,366株	25年3月期	107,492株
26年3月期2Q	308,159,400株	25年3月期2Q	308,165,243株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年5月28日に公表した平成26年3月期通期連結業績予想につきましては、平成25年11月8日付の「第2四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました内容を記載しております。
2. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策や財政政策などに対する期待感から、円高の是正や株価の上昇が進行する中、輸出や民間設備投資が持ち直すなど、緩やかな回復の基調となりましたが、中国をはじめとする新興国経済の景気減速懸念が続くなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

電線業界においては、需要が拡大する建設・電販向けは増加の基調で推移しましたが、依然として、電力、電気機械、通信の分野は低調に推移いたしました。収益面では、原材料やエネルギーコストの上昇を受け、厳しい環境で推移しました。

このような環境下、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は858億63百万円（前年同四半期対比8.3%増）となりました。損益面では、前期に講じた事業構造改革により固定費の削減が図れたことから、営業利益は6億71百万円（前年同四半期は8億29百万円の営業損失）、経常利益は91百万円（前年同四半期は18億49百万円の経常損失）、四半期純損失は1億33百万円（前年同四半期は18億86百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### （電線線材事業）

首都圏の再開発物件等に加え、メガソーラ関連施設も加わり、建設・電販向けの出荷は増加の基調で推移しましたが、採算の厳しい件名の出荷が第2四半期に集中したこともあり、売上高は405億55百万円（前年同四半期対比27.0%増）、営業利益は6億33百万円（前年同四半期対比41.5%減）となりました。

#### （電力システム事業）

国内電力向けの出荷は低迷しましたが、固定費削減が進んだことにより、売上高は134億94百万円（前年同四半期対比25.5%減）、営業損失は1億23百万円（前年同四半期は12億71百万円の営業損失）となりました。

#### （巻線事業）

高機能製品に使用される細物平角巻線や自動車用電装品向け巻線は回復の基調で推移しましたが、依然として重電向け等の出荷が低迷していることから、売上高は103億8百万円（前年同四半期対比3.2%増）、営業損失は14百万円（前年同四半期は56百万円の営業損失）となりました。

#### （コミュニケーションシステム事業）

国内需要が低迷する通信ケーブルについては、関連する子会社の解散等により固定費削減を進めましたが、光ファイバケーブルの出荷が減少したことに加え、ネットワークソリューション関連の売上が第3四半期以降に偏重することから、売上高は96億58百万円（前年同四半期対比5.1%増）、営業損失は1億77百万円（前年同四半期は6億17百万円の営業損失）となりました。

#### （デバイス事業）

建築用免震装置は堅調な受注に支えられ出荷が増加したことに加え、複写機用ローラ等の精密デバイスも海外での生産が堅調に推移したことから、売上高は107億90百万円（前年同四半期対比20.2%増）、営業利益は4億92百万円（前年同四半期対比55.5%増）となりました。

#### （その他）

売上高は10億56百万円（前年同四半期対比1.8%増）、営業損失は2億12百万円（前年同四半期は2億62百万円の営業損失）となりました。

注. 上記、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含めておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,395億76百万円（前連結会計年度末総資産1,368億90百万円）で、主に受取手形及び売掛金が減少した一方、たな卸資産及び固定資産が増加したため、前連結会計年度末より26億85百万円増加しております。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,032億36百万円（前連結会計年度末負債合計1,015億40百万円）で、主に支払手形及び買掛金が減少した一方、短期借入金及び長期借入金が増加したため、前連結会計年度末より16億95百万円増加しております。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は363億39百万円（前連結会計年度末純資産353億49百万円）で、前連結会計年度末より9億89百万円増加しております。

## (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間につきましては、想定以上に国内汎用電線の市況が厳しかったこと等により収益が悪化し、営業利益、経常利益、四半期純利益は前回予想を下回りました。

通期連結業績予想につきましては、電線線材事業を中心に売上高が想定を上回ることが見込まれるため、売上高は前回予想を上回る見込みです。

詳細につきましては、本日（平成25年11月8日）公表いたしました「第2四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	168,000	3,000	2,000	1,500
今回修正予想(B)	176,000	3,000	2,000	1,500
増減額(B-A)	8,000	0	0	0
増減率(%)	4.8	0.0	0.0	0.0
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	169,798	1,126	△847	△6,365

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,683	8,807
受取手形及び売掛金	47,053	46,100
商品及び製品	8,271	8,602
仕掛品	6,485	7,253
原材料及び貯蔵品	4,490	4,744
その他	4,325	5,281
貸倒引当金	△242	△257
流動資産合計	79,067	80,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,325	10,304
機械装置及び運搬具（純額）	5,836	6,158
土地	24,009	24,009
その他（純額）	1,605	2,142
有形固定資産合計	41,777	42,615
無形固定資産	2,101	2,077
投資その他の資産		
投資有価証券	7,628	8,248
その他	6,706	6,461
貸倒引当金	△390	△360
投資その他の資産合計	13,945	14,348
固定資産合計	57,823	59,042
資産合計	136,890	139,576
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,631	21,952
短期借入金	42,922	44,021
未払法人税等	329	187
工事損失引当金	30	11
事業構造改善引当金	1,187	314
その他	10,944	10,380
流動負債合計	79,046	76,867
固定負債		
長期借入金	13,773	17,625
退職給付引当金	649	545
役員退職慰労引当金	112	95
その他	7,959	8,103
固定負債合計	22,494	26,369
負債合計	101,540	103,236

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,221	24,221
資本剰余金	11,035	6,428
利益剰余金	△6,077	△1,604
自己株式	△13	△13
株主資本合計	29,166	29,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	780	855
繰延ヘッジ損益	23	5
土地再評価差額金	5,031	5,031
為替換算調整勘定	55	1,073
その他の包括利益累計額合計	5,890	6,965
少数株主持分	292	341
純資産合計	35,349	36,339
負債純資産合計	136,890	139,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	79,252	85,863
売上原価	71,404	76,833
売上総利益	7,847	9,029
販売費及び一般管理費	8,676	8,358
営業利益又は営業損失(△)	△829	671
営業外収益		
受取利息	8	20
為替差益	—	59
受取配当金	99	101
その他	118	160
営業外収益合計	226	341
営業外費用		
支払利息	517	535
持分法による投資損失	68	167
為替差損	387	—
その他	272	217
営業外費用合計	1,246	920
経常利益又は経常損失(△)	△1,849	91
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2
受取補償金	99	—
固定資産売却益	29	—
特別利益合計	129	2
特別損失		
事業構造改善費用	15	29
減損損失	76	—
その他	212	2
特別損失合計	304	31
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,024	61
法人税等	80	186
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,104	△124
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△218	8
四半期純損失(△)	△1,886	△133



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,104	△124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△495	75
繰延ヘッジ損益	△0	△18
為替換算調整勘定	96	579
持分法適用会社に対する持分相当額	37	478
その他の包括利益合計	△362	1,114
四半期包括利益	△2,466	989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,267	941
少数株主に係る四半期包括利益	△199	48

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,024	61
減価償却費	1,538	1,418
減損損失	76	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2
固定資産売却損益(△は益)	△39	—
固定資産廃棄損	75	13
投資有価証券評価損益(△は益)	181	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△50	△15
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△3	△19
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△2	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	47	△103
受取利息及び受取配当金	△108	△121
支払利息	517	535
事業構造改善費用	15	29
関係会社出資金評価損	14	—
売上債権の増減額(△は増加)	6,818	952
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,069	△1,180
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,973	△1,594
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△271	△211
その他の流動負債の増減額(△は減少)	179	△545
その他	438	△396
小計	4,361	△1,177
利息及び配当金の受取額	108	142
利息の支払額	△512	△534
事業構造改善費用の支払額	—	△902
和解金の支払額	△106	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	173	△149
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,024	△2,621
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の売却による収入	0	2
有形固定資産の取得による支出	△1,591	△1,533
有形固定資産の売却による収入	86	16
無形固定資産の取得による支出	△239	△202
関係会社出資金の払込による支出	△308	△220
出資金売却による収入	—	3
短期貸付金の増減額(△は増加)	△19	△952
その他	228	457
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,847	△2,434

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,078	△112
長期借入れによる収入	6,100	8,750
長期借入金の返済による支出	△3,572	△3,687
社債の償還による支出	△70	—
配当金の支払額	△308	—
その他	△74	283
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,003	5,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	△301	277
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	871	455
現金及び現金同等物の期首残高	7,205	8,223
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,077	8,678

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成25年6月26日開催の当社第117期定時株主総会における決議に基づき、資本準備金4,095百万円を減少し、その他資本剰余金に振替えるとともに、その他資本剰余金4,606百万円を繰越利益剰余金に振替え、欠損の補填を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が4,606百万円減少し、利益剰余金が4,606百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	電線線材 事業 (百万円)	電力シス テム事業 (百万円)	巻線事業 (百万円)	コミュニケ ーションシ ステム事業 (百万円)	デバイス 事業 (百万円)				
売上高									
外部顧客への 売上高	31,941	18,123	9,986	9,188	8,974	1,037	79,252	—	79,252
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,684	535	415	987	343	4,976	15,942	△15,942	—
計	40,625	18,659	10,402	10,175	9,317	6,014	95,195	△15,942	79,252
セグメント利益 又は損失(△)	1,083	△1,271	△56	△617	316	△262	△808	△21	△829

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業、事務管理業務、超電導線事業等の製造販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△21百万円には、のれんの償却額△37百万円などを含んでおります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「デバイス事業」および「その他」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「デバイス事業」で62百万円、「その他」で13百万円であります。

(海外売上高)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	8,806	132	8,938
II 連結売上高(百万円)	—	—	79,252
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合(%)	11.1	0.2	11.3

(注)1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

アジア……シンガポール、中国、カタール等

3 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域における売上高であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	電線線材 事業 (百万円)	電力シス テム事業 (百万円)	巻線事業 (百万円)	コミュニケ ーションシ ステム事業 (百万円)	デバイス 事業 (百万円)				
売上高									
外部顧客への 売上高	40,555	13,494	10,308	9,658	10,790	1,056	85,863	—	85,863
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10,239	149	353	447	102	4,917	16,209	△16,209	—
計	50,795	13,644	10,661	10,105	10,892	5,974	102,073	△16,209	85,863
セグメント利益 又は損失(△)	633	△123	△14	△177	492	△212	598	72	671

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業、事務管理業務、超電導線事業等の製造販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額72百万円には、未実現利益の調整額77百万円などを含んでおります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(海外売上高)

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	10,908	175	11,083
II 連結売上高(百万円)	—	—	85,863
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合(%)	12.7	0.2	12.9

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域  
アジア………タイ、シンガポール、中国等

3 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域における売上高であります。